

森づくりの最前線

上越森林管理署 高田森林事務所 首席森林官 吉川 徹



頸城平野からの米山

私が勤務する高田森林事務所は、新潟県最西部の上越市に位置し、上越市、妙高市及び糸魚川市を管轄しています。

国有林については、長野県及び富山県に隣接した約240000畝を管理しており、その多くは、標高800畝以上の地域に位置し、ほとんどが自然公園に指定されています。

また、林況は、大半が天然林となっており、人工林はわずか5畝程度となっています。

管内は、北は古くから海上交通の目印とされた米山(よねやま)(標高993畝)から、東頸城丘陵(ひがしくびききゅうりょう)(関田山塊)を経て、南は富山・



船越の頭から小蓮華山を望む

長野県境に隣接する三国境に隣接する小蓮華山(これんげさん)(標高2766畝)までと区域も広く、また、県内でも有数の豪雪地帯であり、平野部の積雪は1畝程度ですが、山間部では2畝を越え、県境の奥山山岳地帯は5畝以上に達します。

天然林では、雪害の試練を耐え抜いたブナ林が特長的で、特に日本海側のブナは樹肌が美しく、すらつと直立して成長し、見られるようなブナ林が標高800畝から1000畝に掛けて群生しています。

このブナ林及び天然林を生かし、かつては信濃と越後を結ぶ交通の要所として使われた国有



信越トレイル

林内の古道を平成16年に長野県のNPOと長野県が協定を結び関田山脈の稜線上を全長約80kmに及ぶロングトレイル「信越トレイル」として開設され、自然豊かな里山トレッキングとして



ブナ林



雷鳥坂周辺のライチョウ

日々利用されています。

また、管内には、深田久弥の記した「日本百名山」に含まれる火打山、妙高山、雨飾山、そして、北アルプス、後立山連峰の山稜に沿って、小蓮華山(新潟県・最高峰)を有しておりシーズンには多くの登山者に利用されています。

現在、業務を通じて様々な「森林・国有林への意見・要望」を聞く機会がありますが、国有林隣接地域及び都市部での森林への関心、期待がそれぞれ違うことが感じられます。

このことから、その地域・環境に合った森林管理・施策を取り入れ、国有林に求められるニーズに対応した森づくりを目指して行きたいと思えます。